

平成28年度 学校安全強化月間の調査結果 市町村教育委員会回答分

質 問 項 目		合計	
		数	%
市町村教育委員会数(53)※千葉市を除く		53	
市町村教委の主催で安全主任等に対する研修を実施しましたか。			
1	① 実施した。	17	32.1%
	② 実施していない。	36	67.9%
市町村教委の主催でスクールガード等に対する研修会を実施しましたか。			
2	① 実施した。	5	9.4%
	② 実施していない。	48	90.6%
市町村教委として携帯電話やパソコンのメール等を用い、地域住民に対して不審者情報等を発信しましたか。			
3	① 実施した。	27	50.9%
	② 平成27年度は実施していないが、今年度実施(予定)。	1	1.9%
	③ 実施の予定はない。	25	47.2%
市町村教委として、幼児児童生徒の登下校(園)中の犯罪被害を防止するため、学校、地域及び関係機関等と連携した協議会や会議等(学警連を除く)を実施しましたか。			
4	① 平成27年度に実施した。	16	30.2%
	② 平成27年度は実施していないが、今年度実施(予定)。	6	11.3%
	③ 実施の予定はない。	31	58.5%
協議会や会議等を、平成27年度は何回実施しましたか。			
5	※平均は、実施した16市町村の平均回数	35回 (平均2.2回)	
協議会や会議等の構成メンバーを、全て選択してください。(複数可) ※割合(%)は、実施した16市町村のうち			
6	① 教育委員会	16	100.0%
	② 学校等職員	13	81.3%
	③ PTA関係者(保護者等)	8	50.0%
	④ 地域関係者(学校ボランティア等)	14	87.5%
	⑤ 所轄警察署	11	68.8%
	⑥ 部局防犯主管課	3	18.8%
	⑦ その他		0.0%
・セブンイレブンの見守り協定の活用			
「ちばっ子安全マップづくり」について貴教育委員会が事業を行いましたか。(複数可)			
7	① 研修会等を実施した。	1	1.9%
	② 資料配布等を行い啓発活動を行った。	35	66.0%
	③ 管下の学校(小学校等)にちばっ子安全マップ作りの 授業実施を義務付けた。	4	7.5%
	④ ちばっ子安全マップと危険箇所マップの違いを説明する場を設けた。	8	15.1%
	⑤ その他	0	0.0%
・国の補助事業を活用し、科学警察研究所と連携した公開授業を実施した。			

8	平成27年度、管下の小学校について通学路交通安全確保のための合同点検を行いましたか。	
	① 複数回実施した。	10 18.9%
	② 1回実施した。	34 64.2%
	③ 実施していない。	9 17.0%
9	通学路交通安全確保のための合同点検体制の構成員を、全て選択してください。(複数可)	
	① 教育委員会	51 96.2%
	② 学校等職員	46 86.8%
	③ PTA関係者(保護者等)	35 66.0%
	④ 地域関係者(学校ボランティア等)	11 20.8%
	⑤ 所轄警察署	48 90.6%
	⑥ 警察OB	6 11.3%
	⑦ 道路管理者等	47 88.7%
	⑧ 有識者(大学関係者等)	1 1.9%
	⑨ 交通安全協会員	5 9.4%
⑩ その他	6 11.3%	
10	平成27年度のスクールガードリーダーの配置人数は何人ですか。	
		607人 (平均11.5人)
11	各学校のスクールガードについて、市町村または教育委員会としてどのようなことを実施していますか。(複数可)	
	① 登録制にしている。	12 22.6%
	② 保険に加入している。	13 24.5%
	③ 表彰している。	6 11.3%
	④ 特に何もしていない。	30 56.6%
	⑤ その他	0.0%
12	貴教育委員会で今年度新たに取り組む学校安全関係の事業等	
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や関係機関と連携した防犯教育公開授業、学校事故の調査委員会設置に向けての検討 ・危機管理マニュアルの見直し(危険予告事案発生時の連絡体制の追記) ・市民安全課と連携して、スケアード・ストレイト的な内容を含んだ生徒対象の交通安全教室を中学校1校で実施。 ・避難所運営のガイドライン作成。 ・学校防災アドバイザー活用事業。 ・警察署と連携したパトロール活動の実施。具体的な活動は、異動交番職員が、小学校の下校時に、保護者や学校職員とともに歩き、子ども達の交通安全への意識を高める。 	